

留萌市立病院の沿革

年度	沿革	整備・更新機器	診療科
1872(明治 5)	官立札幌病院留萌出張所(人口 233 人 / 52 世帯)		
1907(明治 40)	村立留萌病院		
1909(明治 42)	私立留萌病院		
1934(昭和 9)	町立留萌病院		
1945(昭和 20)	町立留萌病院幌糠分院開院		
1946(昭和 21)	港北診療所を設置		
1947(昭和 22)	留萌市立病院		
1950(昭和 25)	留萌市立国保診療所		
1954(昭和 29)	留萌市立国保病院・幌糠診療所		
1957(昭和 32)	留萌市国保西病院 留萌市国保東病院・元町診療所		
1963(昭和 38)	地方公営企業法財務規定適用 東・西病院、幌糠・元町診療所の各特別会計を統合		
1964(昭和 39)	・留萌市国民健康保健西病院を留萌市立病院に、東病院を留萌市立病院東分院に改める(4/1)		整形外科を新設
1965(昭和 40)	・病院改築工事着工(9 月) 現有施設 3,418.80 平方メートルのうち 1,601.95 平方メートルを結核病棟に転用し残りを撤去する。	ペースメーカー ガストロカメラ 光電分光光度計 3 眼顕微鏡	
1967(昭和 42)	・留萌市立総合病院本館完成(7/25) 鉄筋コンクリート造り地下 1 階・地上 4 階建て ・看護婦宿舍新築(7/25) 簡易耐火ブロック作り地上 2 階建て ・留萌市立病院を留萌市立総合病院に改称する(10/1) ・留萌市立総合病院東分院を廃止(2/10)		眼科を新設 呼吸器科を新設
1968(昭和 43)	・副院長 2 名を配置	オルソトラック 吸引機 酸素テント 顕微鏡写真装置 顕微鏡写真複写装置 ヘマトクリット遠心器	
1969(昭和 44)	・総看護婦長を配置	一方向高速連続撮影装置 L 型内視鏡 自動血球計数器 他用途監視記録装置 ウルトローム超ミクローム シンチレーションカウンタ	

年度	沿革	整備・更新機器	診療科
		— 自動人工呼吸装置	
1970(昭和 45)	・ボイラー改修工事	回診用X線装置 超音波洗浄装置 未熟児保育器 双眼実体顕微鏡 ガストロカメラ	
1971(昭和 46)	・留萌市立総合病院経営審議会の設置を条例化(5/12)	シンチレーションスキャナー — 多目的超音波診断装置 ブッキープレンデ 未熟児保育器 分光光度計 マイクロ・セラピー	
1972(昭和 47)	・3 相X線工事の伴う電気設備工事	アトム酸素tent パーカ氏膀胱鏡 新生児モニター 超音波手洗い器 ドプラー胎児診断装置 アプトカンピメーター ピスコスコープ	
1973(昭和 48)	・新館新築工事着工 ・投薬表示器設置	自動分割分包器 ステレオスコープ ガストロカメラ	
1974(昭和 49)	・新館新築工事完成 鉄筋コンクリート造り地下 1 階地上 2 階建て ・第 2 病棟解体工事 ・リハビリテーション施設新築工事 補強コンクリートブロック鉄骨地上 1 階建て ・看護婦宿舎移転補修工事 ・人工透析開設準備	全身用下肢用下流浴装置 ガストロファイバースコープ ルクトロンクリオス	
1975(昭和 50)	・人工透析室を開設する(4/15)	人工透析装置 6 台 大腸・十二指腸ファイバースコープ 移動用 X 線装置 クリニカル脳波計 眼科用冷凍手術装置 冷蔵庫コールドルーム 自動血球数器	
1976(昭和 51)	・RI 検査施設新築工事着工(10/21) ・自病協の経営診断を実施 ・自主財政再建 5 ヶ年計画(52～56 年度)を策定する	処置用ファイバースコープ 自動現像機 ガストロカメラ 自動食器洗浄機	リハビリテーション科を新設
1977(昭和 52)	・RI 検査施設新築工事完成(6/18) ・本館南側非常階段新設工事	RI 装置 X 線テレビ装置 撮影用 X 線装置 人工透析患者監視装置 2 台 生検用ファイバースコープ 電子眼圧計	

年度	沿革	整備・更新機器	診療科
1978(昭和 53)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療相談室を新設 ・医療請求事務用コンピューター導入 ・防災設備(スプリンクラー)設置工事着工 	眼底カメラ 十二指腸ファイバースコープ	
1979(昭和 54)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院事業経営健全化実施要領が交付され、11/10 日付けで経営健全化団体の指定を受け、経営健全化 7 年計画を策定する(6/18) ・人工透析センター新築工事完成(1/21) ・防災設備(スプリンクラー)設置工事完成(5 月) 	人工透析供給装置(20 人用)及び患者監視装置(7 台) 自動血球計数器装置 エコー・カルジオグラフ テレメーター患者監視装置	
1980(昭和 55)			皮膚科を新設
1981(昭和 56)		CT スキャナー(全身用コンピューターX 線装置)	
1982(昭和 57)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域センター病院の指定を受ける(7/2) ・滅菌槽設置工事 		
1983(昭和 58)	<ul style="list-style-type: none"> ・新館雑排水滅菌槽設置工事 	自動分析装置(検査室) 人工透析患者監視装置(3 台) 全身麻酔器(手術室) 全自動分割分包機(薬局) 電動油圧手術台(手術室) 輸液ポンプ(病棟) 電気手術装置(手術室) スーパーベース(病棟) 直視型ガストロファイバースコープ(内視鏡室)	脳神経外科を新設
1984(昭和 59)	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ棟の一面に電算室を設置、コンピューターを設置(60 年 4 月 1 日 稼働準備)(5/15) ・検査部門を 2 階に集約しその後内科外来診察室、内視鏡室等を再配置する 	全自動血球アナライザー(検査室) X 線テレビ装置(X 線室) 核医学データ処理装置(RI 室) 高圧蒸気滅菌装置(中央材料室) ルミノメーター(病室) ライフ・スコープ 11(眼科) 眼科用手術顕微鏡(眼科) 眼底カメラ(眼科) ダイナスコープ(病棟)	
1985(昭和 60)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピューター稼働開始(4/1) ・夜間人工透析を開始する(4/15) ・元町診療所が元町コミセンに移設 	人工透析患者監視装置(4 台)	
1986(昭和 61)	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 次基本計画(61~65 年度)を策定する ・コンピューターによる薬品管理業務を開始する ・本館北側非常階段新設工事 ・本館上屋改修工事 	人工透析患者監視装置(6 台) 手術用顕微鏡 白内障及びガラス体手術装置	
1987(昭和 62)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピューターによる給食、栄養、食品管理業務を開始する ・救急告示病院に指定認可される ・20 周年記念事業 	病室酸素パイピング(未設置全病室) 自動分析装置(検査室)	

年度	沿革	整備・更新機器	診療科
		電解質自動分析装置及び検査システム(検査室)	
1988(昭和63)	・カルテ庫建設工事	エコーカメラ(内科) 全身麻酔器	
1989(平成元年)	・エレベーター改修工事	無線式4人用心電図集中モニター アルゴン色素レーザ光凝固装置(眼科) 手術用顕微鏡(耳鼻咽喉科) 単身用三液混合透析装置(透析室) 投薬表示装置(薬剤部)	
1990(平成2)	・国道拡幅事業により病院敷地20%カット、リハビリ棟、看護婦宿舎の移転対象が判明 ・ストレージタンク取替工事	CTスキャナー(放射線科) 血管造影連続撮影装置(放射線科) 全自動血液凝固測定装置(検査室) リニア走査超音波診断装置(産婦人科) 全自動錠剤分包器(薬剤部)	
1991(平成3)	・第2次基本計画(3~5年度)を策定する ・病院改築院内検討委員会を設置 ・市役所内に病院等改築に関する調査検討委員会を設置 ・麻酔科外科医療ガス配管工事	半導体レーザー(麻酔科)	麻酔科を新設
1992(平成4)	・病院設備基本構想(マスタープラン)を策定する ・院内感染対策委員会を設置(4/1) ・理学療法Ⅱを開設		
1993(平成5)	・経営改善推進会議を設置(4/19) ・経営改善実行委員会を設置(10/1) ・入院患者病衣の貸付を開始する	MRイメージング装置(MRI) モービルイメージングシステム(放射線科) 核医学データ処理装置(放射線科) レーザーイメージャー(放射線科)	
1994(平成6)	・社会保険審査委員会および病床管理委員会を設置(6/20) ・事務部の機構を見直す(7/1) ・総婦長を看護部長に改称 ・土曜日完全閉院(9/1) ・総合窓口の開設(9/1) ・薬事委員会を設置(9/7) ・救急担当者会議を設置 ・部長会議を設置 ・管理者連絡会議を設置 ・経営診断書の報告(10月) ・自主健全化5ヶ年計画(7~11年度)を策定する(2月) ・レセプト精度調査の報告(3月)	ストレスシステム(検査室) ポリグラフシステム(放射線科) 超音波診断装置(眼科) 胎児監視装置(病棟) 人口透析装置(透析室) 血液検査システム(検査室)	
1995(平成7)	・結核病床を廃止する(4/1) ・病床管理パソコン始動(4/1)		

年度	沿革	整備・更新機器	診療科
	<ul style="list-style-type: none"> ・院内広報誌「Hello Voice」発刊 ・運営会議を設置(6/1) ・検診ルームを設置(7/24) ・骨塩定量測定装置とあわせ新人間ドック体制実施 ・祭り、盆、開院記念日を平常診療 ・無菌室の設置 ・救急患者受け入れ体制の充実 ・高企画救急車間心電図モニター電送装置設置 ・阪神大震災に看護婦派遣 ・内科外来再診予約制実施 ・脳神経外科の常勤化 		
1996(平成 8)	<ul style="list-style-type: none"> ・移転改築準備室設置(4/1) ・患者搬送業務開始(4/1) ・医事業務委託(5/1) ・医事業務派遣(6/1) ・脳神経外科医 2 名体制 ・3 詰、6 詰移動による新病棟体制 ・意見箱を設置(7/22) ・プリペードカード式テレビ、冷蔵庫、ランドリー導入(8 月) ・ボイラー完成(9/13) 		
1997(平成 9)	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所の廃止 ・災害拠点病院に指定 ・移転改築計画関係 建設地が東雲町に決定 建設規模決定 実施設計発注 用地買収 開設許可(350 床) 各種検討委員会設置 		
1998(平成 10)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設推進課設置 ・在宅医療支援室設置 ・院外処方(眼科・整形) ・適時適温給食 ・事務当直民間委託 ・出納取扱金融機関を信金に変更 ・新病院着工式 		
1999(平成 11)	<ul style="list-style-type: none"> ・第 2 種感染症指定医療機関に指定(4 床)(4/1) ・経営審議会の廃止 ・2000 年対応 新コンピューターシステム稼働 ・内科受付改修(5/1) ・内科 5 診療室体制(6/1) ・超音波室移設 ・副看護部長体制(7/1) ・看護部検査チームステーション配置 ・患者搬送車入れ替え ・市民公開講座開設 	ヘリカル CT 導入	
2000(平成 12)	<ul style="list-style-type: none"> ・診療記録等の開示(4/1) ・医事課長補佐制導入 ・第 1 回健康フェスティバル開催(5/12～13) ・分煙対策 ・新救急車納車(2/9) ・新病院躯体受け渡し(5/31) 		循環器科独立 禁煙外来開始
2001(平成 13)	<ul style="list-style-type: none"> ・新病院への患者移動(8/24) ・保険医療機関として新たに指定(8/26) ・新病院外来診療開始(8/27) 	医療情報システム導入 オーダリングシステム 臨床検査システム	16 診療科 354 床で新 病院開始

年度	沿革	整備・更新機器	診療科
	<ul style="list-style-type: none"> ・留萌市立病院に改称する ・オーダーリング等システム稼働 ・施設管理民間委託化 ・カルテ中央管理化(外来) ・市内循環及び路線バスの敷地内乗り入れ(玄関前バス停) ・新調理システムニュークックチル導入 ・選択メニュー開始 ・検診の充実化(脳ドック開始等) ・院内ボランティア活動開始 ・建設推進課廃止(10/1) ・企画情報室設置 ・クリスマスロビーコンサート(12/21) 	放射線管理システム 麻酔管理システム 看護管理システム カルテ管理システム 再来受付及び外来表示システム 画像データの電子化開始	
2002(平成 14)	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器科の常勤化(4月) ・病院機能評価受審準備開始(4月) ・居宅介護支援室(4月) ・看護相談室設置(4月) ・事務職員 PC1 人 1 台配置 ・経営改善プロジェクト設置(6月) ・ホームページ開設(8/15) ・学童外来の開始(9/2) ・医療連携室の設置(9月) ・1周年記念事業開催(9/27) ・物忘れ外来開設(10月) ・病院の理念及び基本方針の整備(11月) ・お見舞いメール開始 	ハンフリーフィールドアナライザー等	
2003(平成 15)	<ul style="list-style-type: none"> ・診療手帳「健康いちばん」発行(4月) ・経営健全化計画スタート(4月) ・ナースキャップ廃止(4月) ・職種別名札導入(4月) ・管理課・企画情報室を廃止し、総務課総務係・調整係・施設係、経営管理課財務係・物品管理係を置く ・二・四会から桜の寄贈を受ける(5月) ・「糖尿病・夜間講座」始まる(5月) ・「癒しと安らぎの環境賞」応募(7月) ・病床種別変更届(8月) ・病院広報紙「あしたば」創刊(8月) ・管理型臨床研修病院の指定を受ける(10月) ・知事感謝状受領(救急医療活動、11月) 	生体情報モニター等	放射線科標榜
2004(平成 16)	<ul style="list-style-type: none"> ・外来化学療法算定 ・日本医療機能評価機構認定 ・産婦人科出張体制になる ・下肢静脈瘤外来開設 ・乳腺・甲状腺外来開設 ・台風 18 号留萌沖通過 風速 25.4m/s (電力需給不安定となり自家発電対応) ・留萌支庁南部を震源とする地震発生(規模: M6.1, 震度 3) 	移動型外科用 X 線テレビ装置等	
2005(平成 17)	<ul style="list-style-type: none"> ・新医師臨床研修制度による研修医 1 名採用 ・在宅医療支援室と居宅介護支援室を統合し、在宅支援室を設置 ・医事課が経営管理課に統合 ・皮膚科出張医体制になる ・耳鼻科出張医体制になる ・職員駐輪場設置 ・作業療法開始 ・留萌市「健康都市宣言」 ・正面玄関前のタクシーレーンと乗降レーンを入れ替える 	デジタル脳波計等 自動精算機 2 台導入	

年度	沿革	整備・更新機器	診療科
	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードヒーティング故障、除雪対応となる ・後期臨床研修プログラム公開 ・院内インターネット光専用線に切り替え ・遠隔診療支援システム稼働 		
2006(平成 18)	<ul style="list-style-type: none"> ・4 階東病棟を休床(51 床)(4/1) ・新医師臨床研修制度による研修医 6 名採用 ・経営管理課が医事課となる ・診療技術部を設置 ・循環器科出張医体制になる ・呼吸器科出張医体制になる ・言語聴覚士 1 名体制 ・B フレッツ敷設 ・マルチスライス CT 稼働開始 ・研修医 1 名研修修了 ・西條登院長退職 	芝刈機	
2007(平成 19)	<ul style="list-style-type: none"> ・新医師臨床研修制度による研修医 5 名採用 ・事務部に地域医療連携室と経営改革室を設置 ・地方公営企業法の全部適用実施 ・病理診断医の固定 ・留萌市立病院沖見診療所開設 ・脳神経外科医師 1 名体制(1 名減) ・5 階西病棟に療養病棟を 50 床設置(当面運用は 30 床)、休床病床を 4 東から 5 東に変更 ・院外処方箋 FAX コーナーの撤退 ・笹川裕院長(病院事業管理者)就任 ・沖見診療所(在宅療養支援診療所)開設 		
2008(平成 20)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修医 3 名 ・医療安全推進室の設置 ・脳神経外科出張医体制になる ・検査部設置(診療技術部)より分離 ・4 階東・西病棟に「消化器病センター」を設置 ・初診時選定療養費開始 ・留萌コホートピア推進機構設立 ・療養病床を 30 床から 50 床運用へ ・通院バスの試験運行 ・1 月 5 日臨時開院(約 300 人の来院患者) ・産科医療保障制度開始 ・留萌市立病院改革プランの策定 ・公立病院特例債の借入(借入額:18 億 2430 万円) 		病理診断科を標榜(21 年 1 月より)内科の標榜名変更 呼吸器科→呼吸器内科 消化器科→消化器内科 循環器科→循環器内科 神経科→神経精神科
2009(平成 21)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修医 4 名 ・事務部 組織再編 経営改革室を廃止、医事課に経営企画係を新設 ・脳神経外科・皮膚科固定医体制になる ・DPC スタート ・眼科医派遣変更 札幌医科大学 → 旭川医科大学 ・給食業務委託 ・道北ドクターヘリ本格運航開始 		
2010(平成 22)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療情報システム更新検討委員会発足 ・高橋文彦副院長入職(4 月) ・泌尿器科出張医体制になる(5 月) ・旭川医科大学との遠隔医療システム稼働(5 月) ・予約なしの「プチ健診」開始(7 月) ・沖見診療所閉院(1 月) ・東雲診療所(在宅療養支援診療所)開院(2 月) 	ポリグラフシステム(心臓カテーテル室)	泌尿器科休診(4 月)

年度	沿革	整備・更新機器	診療科
2011(平成 23)	<ul style="list-style-type: none"> ・5 階西病棟に回復期リハビリテーション病棟を開設(12 月) ・新医療情報システム稼働(1 月) 	手術用顕微鏡(手術室)	リハビリテーション科の 標榜(12 月)
2012(平成 24)	<ul style="list-style-type: none"> ・東雲診療所 午後診療開始(5 月) ・DMAT(災害派遣医療チーム)指定病院に認定(3 月) 	ICU モニターシステム(病棟)	
2013(平成 25)	<ul style="list-style-type: none"> ・泌尿器科出張医体制になる(4 月) ・院内 TQM(総合的品質管理)チームを発足(8 月) ・遠隔画像診断業務委託を開始(10 月) 	磁気共鳴診断装置 MRI 血管造影X線診断装置 (診療放射線科) 腹腔鏡下システム(手術室)	
2014(平成 26)	<ul style="list-style-type: none"> ・たいせつ安心 i 医療ネットに加入(4 月) ・地域医療教育研究センターを新築(5 月) ・大腸カプセル内視鏡検査を開始(9 月) ・院内トリアージを開始(10 月) ・クレジットカード決済の開始(3 月) 	地域医療ネットワークシステム導入 クレジットカード決済用周辺機器一式(IC チップ、磁気カード読込スキャナー他) 三次元眼底像撮影装置 3D OCT Color(眼科)	
2015(平成 27)	<ul style="list-style-type: none"> ・院内広報誌「いもる」創刊(4 月) ・笹川裕院長退職(6 月) ・笹川裕名誉院長就任(7 月) ・闘魂外来 in 留萌の開催(7 月) ・在宅訪問診療および訪問看護の終了(11 月) 	耳鼻科用カメラシステム VISERA ELITTE(耳鼻咽喉科) 構内電話交換装置(CPU 室)	
2016(平成 28)	<ul style="list-style-type: none"> ・村松博士院長(病院事業管理者)就任(4 月) ・医療費自動精算機の更新(4 月) ・闘魂外来 in 留萌の開催(7 月) ・CS 委員会の発足(9 月) ・クラウド型救急医療連携支援事業参加(11 月) ・地域医療研究会 in 留萌の開催(12 月) ・新留萌市立病院改革プランの策定(3 月) 	自動精算機 2 台 遠隔医療画像転送システム(Join)導入 生体情報モニター(手術室) 多人数用透析液供給装置(人工透析室) X 線テレビシステム(診療放射線科) 麻酔記録システム(手術室)	
2017(平成 29)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務部経営企画課の新設(4 月) ・闘魂外来 in 留萌の開催(7 月) ・許可病床を 354 床から 300 床へ変更(10 月) 5 階東病棟の廃止(52 床) 2 階東病棟の一部廃止(2 床) ・人工透析治療提供体制を 23 床から 26 床へ拡充(10 月) ・5 階西病棟の回復期リハビリテーション病棟を休床(2 月) 	超音波診断装置(臨床検査科) 診断用X線撮影装置、一般 X 線撮影間接変換 FPD 装置(診療放射線科) 看護支援システムナースコール(病棟)	
2018(平成 30)	<ul style="list-style-type: none"> ・山崎左雪副院長就任(4 月) ・闘魂外来 in 留萌の開催(6 月) ・地域包括ケア病棟の開設(10 月) 	看護支援システムナースコール(病棟)	